

안녕하세요 안녕하세요 안녕하세요

Salamat Po 再见

Xin chào

# 多文化まらぶりの会

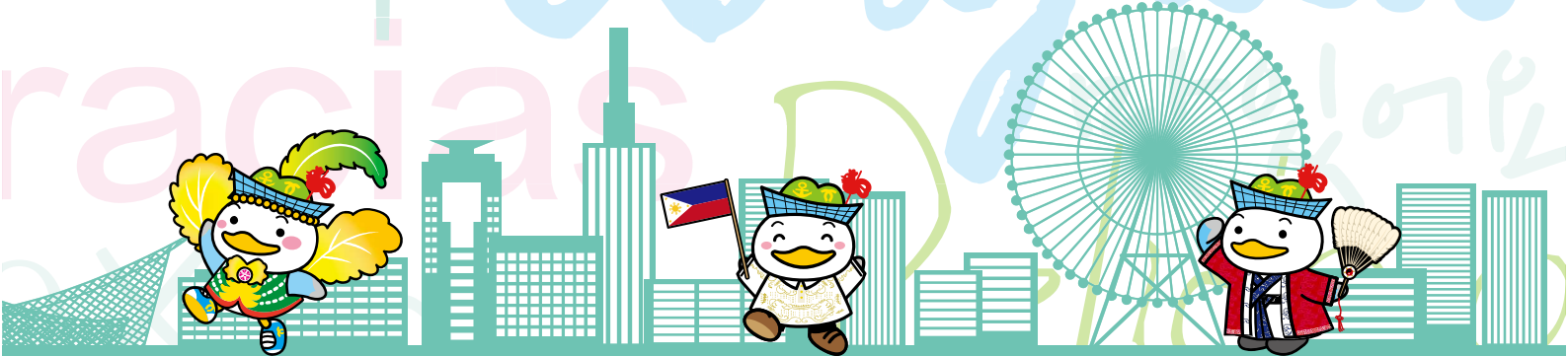
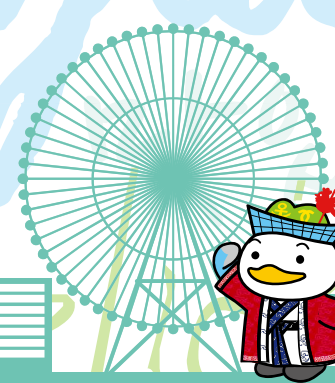


こんにちはは好吃

谢谢

こんにちは

# Obrigado



# もくじ

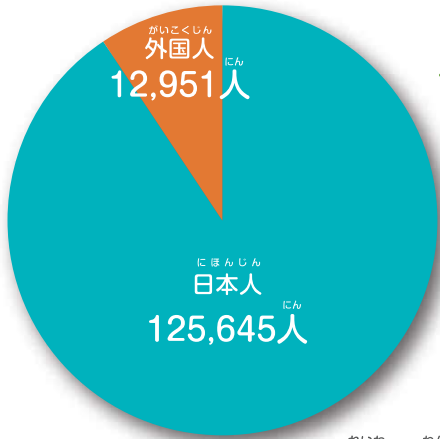
	はじめに .....	P1
	<small>たぶんか</small> 多文化まちづくりの会 <small>かい</small> の <small>しょうかい</small> 紹介 .....	P2
	<small>ちゅうごく</small> 中国 .....	P4
	<small>かんこく</small> 韓国 .....	P6
	ブラジル .....	P8
	フィリピン .....	P10
	ベトナム .....	P12
	ペルー .....	P14
	<small>ちようせん</small> 朝鮮 .....	P16
	<small>にほん</small> 日本 .....	P18
	<small>がいこく</small> 外国 <small>ことば</small> の言葉 .....	P20

# はじめに

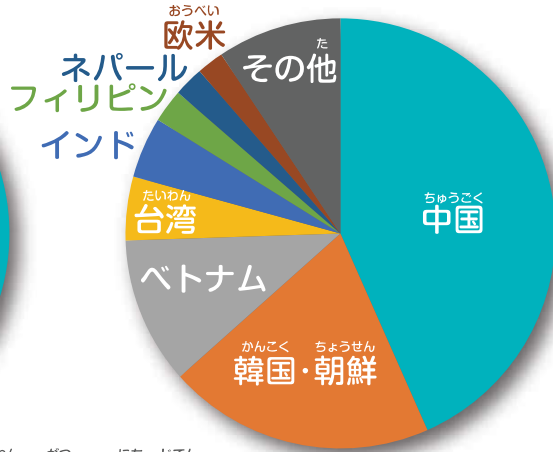
## 神戸市中央区における外国人

中央区に住む人の約10%は外国人です。その国の数はなんと100カ国。いろいろな言葉や文化を持ったみなさんが、一緒に生活しています。

神戸市中央区の人口



外国人の国籍



令和3年1月31日時点

## 「多文化共生」って？

多文化共生とは、国籍や言葉、文化、習慣が違う人々がお互いを受け入れて認め合い、尊重しながらともに生きていくことです。

いろいろな国籍を持つ人が集まり、生活していることは、中央区の個性の一つです。中央区そして多文化まちづくりの会では、だれもが住みやすいまちづくり「多文化共生」を目指して活動を行っています。



multicultural symbiosis

# 多文化まちづくりの会

## 「会の成り立ち」

外国人コミュニティのメンバーが中心となり活動する「多文化まちづくりの会」は、中央区役所の呼びかけで、2002年に「多文化コミュニティのつどい」としてスタートしました。神戸で活動する外国人コミュニティ同士の交流や多文化共生のまちづくりを進めていくための活動として、各コミュニティの広報冊子などを置く外国人情報コーナーを中央区役所に設け、まちあるきなどを通じて多言語神戸市観光マップや多文化共生マップなどを作成しました。2007年には、「多文化交流フェスティバル実行委員会」を立ち上げ、各国の文化と食をテーマとした多文化交流フェスティバル、多文化交流カフェの開催を通じて地域との交流を図りました。2016年には現在の「多文化まちづくりの会」として発展。地域や小・中学校、大学などへの多文化共生出前講座を開催するなど、新たな取り組みも行っています。

## 活動紹介

### 多文化交流フェスティバル (毎年10月下旬に開催)

会の活動の中で一番大きなイベントで、毎年東遊園地で開催しています。舞台では各国の踊りや歌が披露され、神戸にいながらにして外国気分を味わえます。出店ブースでは、各国の料理や世界のかわいい雑貨が揃い、毎年大いに盛り上がります。





たぶん か こうりゆう

# 多文化交流カフェ

がつちゅうじゆん がつしよじゆん かいさい  
(2月中旬～3月初旬に開催)

がいこくじん ちいき こうりゆう さまざま くに ぶんか りかい ふか  
外国人コミュニティと地域のみなさんが交流し、様々な国の文化について理解を深めるた  
めに開催しています。各国のお茶やお菓子を楽しみながら、「食」や「文化」など身近な  
テーマについて楽しく話し合います。

カフェは事前申し込みが必要ですが、どなたでもご参加いただけます。



# 多文化共生出前講座

かい ちいき しょうがっこう ちゅうがっこう だいがく しゅつちよう す  
会のメンバーが地域や小学校、中学校、大学などに出張し、だれもが住みやすい  
多文化共生のまちづくりにむけて、各世代にあわせた身近なテーマをきっかけとして  
出前講座を行っています。





# 中国

ちゅうごく



## 神戸華僑総会

在神華僑華人の相互扶助と中日友好を目的として結成されました。

中国人の増加に伴い、友好団体とも協力し、中日友好の更なる発展を目指して活動しています。

中国人の各種証明書の手続きの代行をはじめ、毎月広報誌を発行しています。その他、華僑会館は、太極拳や中国語の講習、コーラス、民族音楽・舞踏、中国獅子舞などの練習会場として利用されています。



私たちの国の「花」

## ボタン

中国の国花は、ボタンとウメと一般的に言われていますが、法令で定められておらず、現在選定作業中です。ほかに蓮・菊・蘭などが候補に上がっていますが、ボタンとウメともに支持率が40%以上にのぼり、両方を国花にすることを支持している人も多数います。中国では伝統的に牡丹を「国の花」とする習慣があり、牡丹は西暦200年頃から薬草として栽培されていました。中国原産のボタンは、1500年以上も前から栽培されてきました。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通2-12-11  
ADDRESS TEL:078-331-4232 FAX:078-334-2475  
E-Mail:mail@kobe-chinese.com





わたし くに  
私たちの国の  
民族衣装



## チャイナドレス

### ●いつ着る衣装？

一般庶民の中では、結婚用の衣装として流行しています。

### ●どんな衣装？

日本でよく言われている「チャイナドレス」は、中国の数ある少数民族の中の満州族の衣装からきています。中国が清の時代に満州貴族の女性が、正装として着ていた民族衣装で、旗袍（チーパオ）が元になっています。



わたし くに  
私たちの国の  
おすすめ料理

## 水餃子

水餃子とは、小麦粉を水で練り合わせて手のひらサイズに薄く延ばした皮に、豚肉や白菜などで作った具を包んでゆでた料理です。

酢や醤油などお好みのたれをつけて食べます。

日本で親しまれている焼き餃子は中国ではあまり一般的ではなく、

水餃子がよく食べられています。

中国では、

その発音が交子（子を授かる）と同じである

ことなどから、縁起の

良い食べ物としてお

祝い事のあるときによく

食べられますが、

一般的にも広く食べら

れる料理です。



た。野生種8種は全て中国で生育しており、唐宋時代から、ボタンは「国色天香」と呼ばれ、「花王」として愛でられました。唐代と清代、ボタンは国花に指定され、民間に深く浸透しました。また、梅の花の原産地も中国であり、梅花の栽培は3000年以上の歴史があり、中華民国時代は法令により梅を国花として制定したときもあったそうです。



# 韓国

かんこく



## ざいにほんだいかんみんこくみんだん 在日本大韓民国民団 ひがしこうべしよ 東神戸支部

ざいにほんだいかんみんこくみんだん (MINDAN) は、1946年10月3日に結成された在日韓国人の生活者団体です。在日韓国人の生活権や法的地位の確立を中心に、外国人への人権意識の向上に大きな役割を果たしました。また韓日友好親善の為の活動や防災への取り組みも行っています。



わたし くに はな  
私たちの国の「花」

## ムクゲ

かんこく こっか はな  
韓国の国花はムクゲの花で、  
ムクゲムクゲ  
「無窮花(무궁화)」と書きます。  
はなことば いちず ところ ねば つよ  
花言葉は「一途な心」「粘り強さ」で



ADDRESS

〒651-0095 神戸市中央区旭通2-10-4  
TEL:078-231-2301 FAX:078-231-2302  
Email:tongain@orion.ocn.ne.jp





わたし くに  
私たちの国の  
「民族衣装」

## ハンボク

### ●いつ着る衣装？

さいじ けいじ とき き にちじょうてき かつどう  
祭事、慶事の時に着ます。日常的には活動しにくいので、若い人たちは、活動しやすいようにデザインされた「改良韓服」を着る人たちが増えています。

### ●どんな衣装？

げんしよく つか はで おお そで  
原色を使い、派手なものが多いです。袖のゆるやかな曲線、全体を引き締める白地の半襟、あわせ着のように着るスタイルが「民族衣装韓服の美しさ」です。

なが きかん わた ち さ  
あり、長い期間に渡って散っては咲  
ちからづよ せいめいりよく かんみんぞく れきし  
く力強い生命力は、韓民族の歴史や  
みんぞくせい たと こつか  
民族性に例えられます。国歌である  
「愛国歌」の歌詞にも歌われ、国章  
エグツカ か し うた こくしやう  
や名誉を称える勲章にも無窮花の  
モチーフがデザインされています。  
てつどう めいしやう しめ  
鉄道の名称、ホテルのランクを示す  
ほし か はな もち  
星の代わりに、このムクゲの花が用  
いられるなど、深く親しまれ愛され  
ています。



わたし くに  
私たちの国の  
「おすすめ料理」

## ピビンバ

うつわ い やさい  
ピビンバとは器にごはんを入れ、ナムルという野菜に  
あじつ にく たまご ぐざい  
味付けしたものや、肉、卵などの具材をのせてコチュ  
あまから とうがらし くわ  
ジャン（甘辛い唐辛子みそ）を加え、スプーンでよく混  
た りようり いっぱんてき いろど しよく  
ぜて食べる料理です。一般的に彩りを5色そろえること  
とされ、えいよう  
栄養バランスのよいメニューです。日本でも  
ゆうめい  
有名なピビンバです  
いしやき  
が、石焼ピビンバとは  
おおさか かんこくりようりてん  
大阪の韓国料理店で  
はつあん りようり  
発案された料理であ  
かんこく ぎやくゆにゆう  
り、韓国にも逆輸入さ  
いしがま  
れ「トルソ（石釜）ピビ  
よ  
ンバ」と呼ばれていま  
てがる  
す。ピビンバは手軽な  
しよくどう  
メニューとして、食堂  
かてい した  
や家庭でも親しまれて  
います。







# ブラジル



## 関西<sup>かんさい</sup>ブラジル人<sup>じん</sup> コミュニティ

日本<sup>にほん</sup>に住<sup>す</sup>むブラジル人<sup>じん</sup>が、日本社会<sup>にほんしゃかい</sup>、地域<sup>ちいき</sup>の一員<sup>いちいん</sup>として暮<sup>く</sup>らすためにお互<sup>たが</sup>いに協<sup>きょうりょく</sup>力<sup>りき</sup>し、日本社会<sup>にほんしゃかい</sup>がブラジル人<sup>じん</sup>を理<sup>り</sup>解<sup>かい</sup>できるよ<sup>う</sup>な交<sup>こうりゅう</sup>流<sup>りゅう</sup>の場<sup>ば</sup>を設<sup>もう</sup>けること<sup>めざ</sup>を指<sup>めざ</sup>していま<sup>す</sup>。日本社会<sup>にほんしゃかい</sup>で活<sup>かつ</sup>躍<sup>やく</sup>し、生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>をしてい<sup>く</sup>た<sup>め</sup>には、日本<sup>にほん</sup>の習<sup>しゅう</sup>慣<sup>かん</sup>や規<sup>き</sup>則<sup>そく</sup>など<sup>まな</sup>を学<sup>まな</sup>び、そ<sup>れ</sup>ぞ<sup>れ</sup>が自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>た<sup>ち</sup>の権<sup>けん</sup>利<sup>り</sup>を知<sup>し</sup>り、情<sup>じょう</sup>報<sup>ほう</sup>を<sup>え</sup>得<sup>え</sup>るこ<sup>と</sup>が重<sup>じゅう</sup>要<sup>よう</sup>です。そ<sup>し</sup>て、地<sup>ち</sup>域<sup>いき</sup>の一<sup>いち</sup>員<sup>いん</sup>と<sup>し</sup>て、私<sup>わたし</sup>た<sup>ち</sup>が生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>して<sup>い</sup>る場<sup>ば</sup>所<sup>じょ</sup>で起<sup>お</sup>き<sup>て</sup>い<sup>る</sup>こ<sup>と</sup>に<sup>かん</sup>心<sup>しん</sup>を<sup>も</sup>つ<sup>て</sup>い<sup>く</sup>こ<sup>と</sup>が求<sup>もと</sup>め<sup>ら</sup>れ<sup>て</sup>い<sup>ま</sup>す。在<sup>ざい</sup>日<sup>にち</sup>ブラジル人<sup>じん</sup>を<sup>ちゅう</sup>心<sup>しん</sup>と<sup>し</sup>た「コ<sup>こ</sup>ミ<sup>ミ</sup>ュ<sup>ニ</sup>テ<sup>ィ</sup>の<sup>ひろ</sup>ば」<sup>ひろば</sup>から<sup>はっ</sup>し<sup>ん</sup>ん<sup>ん</sup>発<sup>はっ</sup>信<sup>しん</sup>して<sup>い</sup>き<sup>ま</sup>す。



### ADDRESS

〒650-0003 神戸市中央区山本通3-19-8 3階  
TEL:078-222-5350  
E-Mail:cbk.bras.01@tiara.ocn.ne.jp



## わた<sup>し</sup>た<sup>ち</sup>の<sup>く</sup>に<sup>の</sup>「<sup>は</sup>な<sup>」</sup>

## イッペー

ブラジルは自然<sup>しぜん</sup>が豊<sup>ゆた</sup>かな国<sup>くに</sup>で、人々<sup>ひとびと</sup>は鮮<sup>あざ</sup>やかな色<sup>いろ</sup>が好<sup>だい</sup>好<sup>す</sup>きです。花<sup>はな</sup>々は日本<sup>にほん</sup>より種類<sup>しゆるい</sup>が多<sup>おほ</sup>く、色<sup>いろ</sup>も鮮<sup>あざ</sup>やかなものが見<sup>み</sup>受<sup>う</sup>け<sup>ら</sup>れ<sup>ま</sup>す。

昔<sup>むかし</sup>、日本<sup>にほん</sup>からブラジルへ渡<sup>わた</sup>った移民<sup>いみん</sup>の人<sup>ひと</sup>た<sup>ち</sup>が、山<sup>やま</sup>の中<sup>なか</sup>でピン<sup>いろ</sup>ク<sup>はな</sup>色の花<sup>はな</sup>が咲<sup>き</sup>く大<sup>おほ</sup>きな木<sup>き</sup>を見<sup>み</sup>つ<sup>け</sup>ま<sup>し</sup>た。ま<sup>る</sup>で桜<sup>さくら</sup>のよ<sup>う</sup>だ<sup>と</sup>日本<sup>にほん</sup>の事<sup>こと</sup>を思<sup>おも</sup>い<sup>だ</sup>し<sup>て</sup>感<sup>かん</sup>激<sup>げき</sup>した<sup>そ</sup>う<sup>で</sup>す。

この木<sup>き</sup>はイッ<sup>い</sup>ペ<sup>ぺん</sup>ーと<sup>よ</sup>呼<sup>い</sup>ば<sup>れ</sup>、一<sup>い</sup>番<sup>ばん</sup>きれいな黄<sup>きいろ</sup>色<sup>はな</sup>の花<sup>はな</sup>はブラジル<sup>こっか</sup>の国<sup>くに</sup>花<sup>はな</sup>にな<sup>っ</sup>て<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>。中<sup>ちゅう</sup>央<sup>おう</sup>区<sup>く</sup>山<sup>やま</sup>本<sup>ほん</sup>通<sup>どおり</sup>3<sup>ちようめ</sup>丁<sup>てい</sup>目<sup>め</sup>の「市<sup>し</sup>立<sup>りつ</sup>海<sup>かい</sup>外<sup>がい</sup>移<sup>い</sup>住<sup>じゅう</sup>と文<sup>ぶん</sup>化<sup>か</sup>の交<sup>こう</sup>流<sup>りゅう</sup>」



わたし くに  
私たちの国の

民族衣装

## フェスタジュニーナ

### ●いつ着る衣装？

ブラジルには各地方に民族衣装がありますが、これは1年に一度6月の収穫祭のお祭りの時に着ます。ブラジルでは6月は秋の季節にあたり、収穫の時期でもあります。

### ●どんな衣装？

ブラジルの田舎から始まったお祭りで、みんな農夫の格好をします。子どもも大人もフェスタジュニーナが大好きで、衣装を着ると楽しくなって、踊りたくなります。



センター」ではこの木が植えられています。毎年5月の初めに花が咲きますが関西では珍しく、美しい花なので写真を取る人が多くいます。開花時にはぜひセンターにお越し下さい。

私達関西ブラジル人コミュニティは3階に事務所があります。

ブラジルの事をお話しましょう。



わたし くに  
私たちの国の

おすすめ料理

## フェジョアーダ

フェジョアーダとは黒豆、豚肉、ソーセージ、牛肉、ベーコンを、いためたニンニクやたまねぎと一緒に塩味でじっくり煮込んだ料理です。ブラジルでは曜日によって食べる料理が決まっており、フェジョアーダは、家庭では日曜日など家族が集まるときに食べ、レストランでは水曜日と土曜日に食べられます。サンパウロでは玉ねぎ、トマト、酢をまぜてつくったソースをかけることもあり、地域によって特性がある、ブラジルを代表する国民料理の一つです。







# フィリピン



## MASAYANG TAHANAN

「マサヤン タハナン」と言います。タガログ語で楽しい家という意味です。神戸市内を中心に在住するフィリピン人女性とその子どもたちのグループです。2015年4月より活動を開始しました。

一緒に日本語を勉強したり、遠足や親睦会を実施したりしています。他にも、神戸市内のイベントでフィリピン料理の屋台を出したり、フィリピンの紹介をしたりしています。

普段は家庭や、仕事や、学校で忙しい日々を送っていますが、休みの日に集まって母語でお喋りしながら、困ったときには相談できる居場所になっています。



わたしたちの国の「花」

## サンパギータ

フィリピンの国花はサンパギータという名で、いい香りがします。サンパギータには愛の物語が伝えられています。その昔、ラカンビニという美しいプリンセスがいました。父が亡くなり、権力争いによって王国を乗っ取られてしまいます。そこへ、ラカーンという王子が現れ、彼女の国を助けてくれました。二人は恋に落ち、ある丘で結婚の約束をしました。ところが王子は戦いに出ることでなくなりました。彼女は毎日丘から彼の帰りを待っていましたが、彼が帰って

### ADDRESS

〒650-0003 神戸市中央区山本通3-19-8 3階  
TEL・FAX:078-779-1572  
Mail:workmate.office@gmail.com  
URL:http://www.workmate.jimdo.com



わたくし くに  
私たちの国の  
「民族衣装」

バロンタガログ

●いつ着る衣装？

バロンタガログはフィリピンの男性の正装です。(女性の正装は「テルノ」と言います。) 結婚式や特別なイベント等のフォーマルな場で着ることが多いです。最近では、ビルのガードマンなどが、オフィス用に作られたバロンタガログを着ている姿を見かけます。

●どんな衣装？

「Baro ng Tagalog (タガログ族のドレス)」が語源とされています。バナナやパイナップルの葉を原料に使って作られています。生地は麻のようにしっかりしていますが、薄手で涼しく、フィリピンの暑い気候にも適しています。表面に綺麗な刺繍が施されているのも特徴です。下はスラックスを履きます。



くることはありませんでした。プリンセスは亡くなり、亡骸は永遠の愛を約束したあの丘に埋葬されました。そして、彼女が埋葬された場所からいい香りのする白い花が咲き、Sampaguitaと名づけられました。

わたくし くに  
私たちの国の  
「おすすめ料理」

アドボ

アドボとは、肉や野菜の煮込み料理です。フィリピンはスペインに統治されていた時代があり、スペインの影響を多く受けています。「アドボ」という言葉もスペイン語の「マリネする」「漬ける」という意味の「アドバル (adobar)」という言葉から来ています。文字通り、肉を酢やニンニク、醤油、ナンプラーなどに漬けてから調理します。酢を使うのは、暑いフィリピンでも腐りにくくするためです。肉は、豚肉や鶏肉を使う事が多いです。ご飯と一緒に盛り付けて頂きます。日本人にもとても食べやすいです。フィリピンを代表する家庭料理の一つです。







# ベトナム



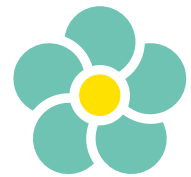
## ベトナム夢KOBゆめE

1995年に発生した阪神・淡路大震災により、神戸に暮らす多くのベトナム人が被災しました。震災からの復興という困難な状況の中で、言葉の壁や文化の違い、制度上の不備などによる様々な問題に直面しました。一つ一つの問題を解決するためにたくさんの人びとの支援を受けました。やがて、支援されるばかりでなく自分たちで問題に立ち向かい、住みよい社会を作っていくと「ベトナム夢KOBゆめE」を設立しました。



ADDRESS

〒653-0052 神戸市長田区海運町3-3-8  
TEL・FAX:078-736-2987  
<https://tcc117.jp/vnkobe/>



### わたしのくにの「花」

## 蓮

ベトナムの国花は「蓮」です。ベトナム語では「セン」と呼ばれています。蓮は、東南アジアや中国が原産地で、池や沼地などで生育する水生植物。直径約10cmから25cmもの白色や淡い紅色が美しく幻想的な花が、大きな葉っぱの隙間に咲きます。







## わたし くに 私たちの国の 「民族衣装」

### アオザイ

#### ●いつ着る衣装？

結婚式には赤色を着ます。中高生の制服として白色を着ますが、今はあまり着られていません。他にも卒業式や先生の日(11月20日)など記念日に着ます。

#### ●どんな衣装？

アオザイは原則としてオーダーメイドで、30センチ以上の採寸を行います。ベトナム人女性のスタイルを極限に美しく見せる衣装です。

ベトナムでは、この美しい花びらをお茶にしたり、実を砂糖漬けのお菓子にしたり、茎をサラダとして食べます。また、ベトナム航空の飛行機の尾翼に蓮が描かれていたり、雑貨店では多くの器や刺繍などにも蓮の花が使われていたりしていることから、蓮はベトナムの人びとに愛され、親しまれています。



## わたし くに 私たちの国の 「おすすめ料理」

### フォー

フォーとは、お米から作られた麺をスープと一緒に食べる料理です。朝食として食べられることが多く、お店や屋台で気軽に食べられ、テイクアウトもできます。食文化の専門家によると、フォーは約100年前にベトナム北部で発祥し、その後ベトナム全体に広まったと言われています。ベトナム国内には、17種類以上ものフォーがあると言われており、地方によって味や具材に特色がみられますが、ベトナムを代表する国民的な料理です。





# ペルー



## ひょうごラテン コミュニティ

ひょうごラテンコミュニティは、<sup>にほん</sup>日本に<sup>ざいじゆう</sup>在住するスペイン語圏出身者の<sup>ごけんしゆうしんしゃ</sup>支援を行う<sup>しえん</sup>非営利<sup>おこな</sup>組織です。  
 日本人とラテンアメリカの<sup>さまざま</sup>様々な<sup>くに</sup>国の<sup>しゆうしんしゃ</sup>出身者で<sup>こうせい</sup>構成されてお<sup>にほんざいじゆう</sup>り、日本在住の<sup>しえん</sup>スペイン語圏出身者の<sup>せい</sup>生活環境を<sup>かいぜん</sup>改善するために<sup>ご</sup>スペイン語での<sup>せい</sup>生活相談、<sup>じゆう</sup>情報提供（<sup>ほうそう</sup>ラジオ放送、<sup>じゆう</sup>情報誌発行）、<sup>ぼごき</sup>母語教室、<sup>ぶん</sup>文化的イベント<sup>おこな</sup>などを行っています。



### ADDRESS

〒653-0052 神戸市長田区海運町3-3-8 たかとりコミュニティセンター内  
 TEL:078-739-0633  
 URL:https://www.hlc-jp.com/



## 私たちの国の「花」

## カントウータ

ペルーの<sup>こつか</sup>国花はカントウータ（Cantuta）です。<sup>ひょうご</sup>標高2500m～4000mの<sup>さんみやく</sup>アンデス山脈の<sup>こうち</sup>高地に<sup>そだ</sup>育つ<sup>はな</sup>花で、<sup>ねむ</sup>ストレスを<sup>やわ</sup>和らげたり、よく<sup>ねむ</sup>眠れるようになったりといった<sup>やくそう</sup>薬草としての<sup>こうのう</sup>効能もあります。<sup>はな</sup>カントウータの花を<sup>こうちや</sup>紅茶に<sup>う</sup>浮かべて<sup>の</sup>飲んだりもします。<sup>あか</sup>赤や<sup>きいろ</sup>黄色の花びらから<sup>しきそ</sup>色素が<sup>し</sup>染み出てとても<sup>うつく</sup>美しい色になりますよ。  
 古代からとても<sup>たいせつ</sup>大切に<sup>ない</sup>されていた花で、<sup>そうぎ</sup>葬儀や<sup>たいようしん</sup>太陽神への<sup>ぎしき</sup>儀式など、<sup>さまざま</sup>様々な<sup>ぼめん</sup>場面で<sup>もち</sup>用いられてきま





わたし くに  
私たちの国の

「民族衣装」



## ワイラス

### ●いつ着る衣装？

ペルー中部アンデス地方のダンスを踊るときの男性の衣装です。

### ●どんな衣装？

ペルーは各地にインカ時代に起源を持つ様々な民族舞踊があって、衣装も地域によって異なります。衣装のデザインには大切な意味やメッセージが込められ、古くから伝わっており、地域ごとに模様は様々です。

ペルー中部アンデス地方のダンス「ワイラス」は、植民地時代から今までずっと踊り継がれてきた歴史のある民族舞踊です。標高の高いアンデス地域ですが、力強いダンスが特徴です。



した。また、インカ帝国の出土品に描かれていたことなどから、「インカの聖花」とも呼ばれています。古代から現代まで愛され、親しまれている花です。



わたし くに  
私たちの国の

「おすすめ料理」

## セビーチェ

セビーチェとは、生の魚介類などをレモンでマリネした料理です。白身魚、海老、タコ、イカ、貝類、玉ねぎなどを入れて、唐辛子、塩、

レモンで味付けします。ペルーを代表する国民食で、ペルー人がこよなく愛するソウルフードともいえる料理です。ペルー国内では、特に海産物が豊富な沿岸地域(コスタ)でよく食べられています。セビーチェには種類が多数あり、海老のセビーチェやウニのセビーチェなど素材の名前がついたものなどもあります。





# 朝鮮

ちょうせん



ざいにほんちょうせんじんそうれんごうかい  
**在日本朝鮮人総联合会**  
ひょうごけんこうべしぶ  
**兵庫県神戸支部**

ちょうせんそうれん はほん ざいじゅう かつかいかくそう どうほう だんたい こうせい どうほうそしき そこく  
朝鮮総聯は、日本に在住する各界各層の同胞と団体によって構成される同胞組織で、祖国  
の 発展 と朝・日友好親善を願い、在日同胞の権利と生活、民族性を守る事を目的に  
1955年に結成されました。神戸支部は神戸市中央区旭通に位置し、傘下に7個の分会、  
商工会、女性同盟、青年商工会、青年同盟、長寿会を網羅し、地域同胞の生活相談支援や  
相互扶助のための活動を行っています。

また、1945年創立の歴史ある神戸朝鮮初中級学校では、子ども達が母国語を習得し朝鮮の  
文化と歴史を学び、民族性を育てています。



わたし くに はな  
**私たちの国の「花」**

もくらん  
**木蘭**

もくらん ちょうせん やまおく さ しろ うつ  
木蘭は朝鮮の山奥に咲く白くて美  
しい花で、5月に満開を迎えます。

ADDRESS

〒651-0095 神戸市中央区旭通1-2-1 神戸朝鮮会館  
TEL:078-221-1728  
URL:<http://www.chongryon.com/>





わたし くに  
私たちの国の  
「民族衣装」

パジチョゴリ

●いつ着る衣装？

ももとは、普段着でした。しかし今では、何かの記念日に着るぐらいで、めったに着なくなりました。

●どんな衣装？

李朝期の男性の伝統的な衣装です。馬に乗ったり、座ったり、畑仕事をしたりと日常生活の中で便利のようにパジ(ズボン)はゆったりとしたスタイルです。



わたし くに  
私たちの国の  
「おすすめ料理」

チヂミ

チヂミとは、小麦粉をベースにした生地(きじ)に野菜(やさい)やキムチなどお好みの具(このぐ)を入れ、薄く焼(うす)いていただく料理(りょうり)です。キムチを入れればキムチチヂミ、ニラを入れればニラチヂミという風(ふう)に、具材(ぐざい)によって様々なバージョン(さまざま)を楽しめ(たの)めます。あさりのむき身(み)やカキ(かき)を入れても美味(おい)しいです。

しょうゆをベースに酢(す)、ごま油(あぶら)、コチュジャン、きざみねぎなどを合わせて作ったたれにつけていただき、お酒(さけ)のおつまみ(つまみ)やおやつ(やつ)など間食(かんしょく)によく食べ(た)べられます。



朝鮮語(ちょうせんご)では「モンラン」(もんらん)と発音(はつおん)します。昔(むかし)から白色(しろいろ)を好み(この)「白衣民族(はくいみんぞく)」と呼ば(よ)ばれてきた朝鮮民族(ちょうせんみんぞく)。その真(ま)っ白(しろ)な花(はな)びらには朝鮮民族(ちょうせんみんぞく)の純朴(じゆんぼく)な心(こころ)が宿(やど)っていると(い)われています。朝鮮(ちょうせん)では高級料理(こうきゅうりょうり)の香料(こうりょう)として使(つか)われ、実(み)には油分(ゆぶん)が多く(おほ)原料(げんりょう)としても利用(りよう)されます。また、茎(き)や根(ね)は薬草(やくそう)としての効力(こうりやく)もあり、万(ばん)能(なん)な植物(しょくぶつ)として愛(あい)されています。





# 日本

にほん



## 神戸市中央区役所

神戸市中央区役所4階には「外国人相談窓口」があり、英語と中国語が話せる通訳がいます。それ以外の言語についてはテレビ電話による通訳サポートが使えます。窓口での通訳が必要な場合や、区役所に提出する書類の書き方が分からない時、困っていること、相談先が分からない時はお気軽にご相談ください。

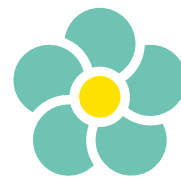
また、この窓口では、中央区に引っ越した外国人の方に、ごみの分別ルールや防災・国民健康保険に関する情報など、中央区での生活に役立つ情報をまとめた「ウェルカム封筒」を多言語でお渡ししています。



〒650-8570 神戸市中央区東町115

ADDRESS TEL : 078-335-7511

<http://www.city.kobe.lg.jp/ward/kuyakusho/chuou/>



わたしたちの国の「花」

桜

じつは日本において、公式に定められた国花はありません。国花について広辞苑では「桜または菊」と記載



わたし くに  
私たちの国の

# 「民族衣装」

## 着物

### ●いつ着る衣装？

あまり日常的には着られていませんが、七五三や成人式、卒業式、結婚式などといったイベントの時に着ます。

### ●どんな衣装？

体の輪郭線は肩と腰にだけ現れ、他の部分はほぼ平面的に覆い隠され、体型を隠すように着られます。女性が着る場合、胸元は必ず覆われています。



されています。日本人に最も愛されている花といえば桜でしょう。古くから詩に読まれたり、公園でござを敷いての花見といえば、日本人の伝統行事です。美しい花を一齐に咲かせる「生命の息吹」と、あつという間に散ってしまう「儚さ」を併せ持っている桜は、日本人の伝統的価値観にピッタリと合っているのかもしれない。



わたし くに  
私たちの国の

# 「おすすめ料理」

## すきやき

すきやきとは日本独特の肉料理であり、鉄の鍋で野菜や豆腐など他の具材とともに、しょうゆと砂糖をベースに味付けされた料理です。関西地方と関東地方で調理方法が異なること

を特徴としており、関東では「わりした」と呼ばれるタレで肉と野菜を同時に煮込み、関西ではまず肉を焼きしょうゆと砂糖で味付けした上で野菜を入れていきます。寿司、天ぷらとならんで日本を代表する料理として世界中に知られています。



# 外国の言葉

日本語	こんにちは	さようなら
中国語	你好 (ニイハオ)	再见 (ツアイジエン)
韓国語 ・ 朝鮮語	안녕하세요 (アンニョンハセヨ)	見送る人: 안녕히 가세요 (アンニョンヒ カセヨ) 帰る人: 안녕히 계세요 (アンニョンヒ ケセヨ)
ポルトガル語 (ブラジル)	Boa tarde (ボア タルヂ)	Até logo (アテローゴ)
タガログ語 (フィリピン)	Magandang hapon (マガンダン ハーポン)	Paalam (パアラム)
ベトナム語	Xin chào (シンチャオ)	Tạm biệt (タム ビエト)
スペイン語 (ペルー)	Buenas Tardes (ブエナス タルデース)	Adios (アディオス)





ありがとう	ごめんなさい	おいしい	たのしい
谢谢 (シエシイエ)	对不起 (ドゥイブーチー)	好吃 (ハオツー)	愉快 (ユイークアイ)
고맙습니다 (コマップスムニダ)	죄송합니다 (チェソンハムニダ)	맛있어요 (マシイツソヨ)	즐겁습니다 (チュルゴプスムニダ)
<sup>だんせい</sup> 男性: Obrigado (オブリガード)	Desculpa (デスクウパ)	Gostoso (ゴストーゾ)	Divertido/ Divertida (チヴェルチド/チヴェルチダ)
<sup>じょせい</sup> 女性: Obrigada (オブリガーダ)			
Salamat (サラーマット)	I pagpatawad mo (イパグパタワド モ)	Masarap (マサラップ)	Masaya (マサヤ)
Cám ơn (カム オン)	Xin lỗi (シン ローイ)	Ngon (ゴン)	Vui (ブイ)
Gracias (グラシャース)	Lo Siento (ロ シエーント)	Riko (リコ)	Divertido (ディヴェルティド)

Magandang hapon Buena tarde  
Delicioso 감사합시다  
ありがとう 再见  
Ngon quá 再见  
Delicioso Buenas  
안녕하세요 Cómo  
谢谢 Xin chào  
Gostoso おいしい  
Paalam po 맛있어요  
Masaya



multicultural symbiosis

